

りんご生育情報(4月号)

令和7年4月16日発行

【発行】宮城県登米農業改良普及センター

電話 0220-22-6127

HP <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-tmsgsin-n/>

普及センターのホームページでは、過去の技術情報も掲載しています。お手持ちのスマートフォンなどで右のQRコードを読み取るとホームページへ移動できますので、ご利用ください。



1. 本年の「ふじ」生育状況及び開花予想



3月上旬の平均気温は低めに経過しましたが、その後は平年を上回る日が多くなりました。しかし、4月初めは最高気温が低い日が続き、**発芽期は平年と比べて3日遅くなりました**。6日以降は平均気温が平年を上回る日が続いたことで、**展葉期は平年より1日早くなりました**(表1)。

表1 令和7年の発芽期及び展葉期(調査地:東和町錦織)

	発芽期	展葉期	開花始期	満開期	落花期
本年	4月6日	4月10日			
前年	4月3日	4月10日	4月22日	4月28日	5月5日
平年	4月2日	4月11日	4月30日	5月5日	5月11日
前年差(日)	3	0			
平年差(日)	4	-1			

「ふじ」の開花時期について、相関が高い仙台の「ソメイヨシノ」満開日(令和7年4月13日)から、「ふじ」の開花始期は**5月1日頃**(図1)、満開期は**5月5日頃**(図省略)と、平年と同じ程度と推定されます。

※4月3日に気象庁が発表した予測資料(仙台地点)によると、向こう1か月の気温が高くなる見込みです(平均気温平年差+1.1℃)。そのため、登米管内の開花も早まる可能性があります。ただし、栽培地域や今後の気温、降雨によって生育は大きく変わりますので、今後の気象に十分注意してください。

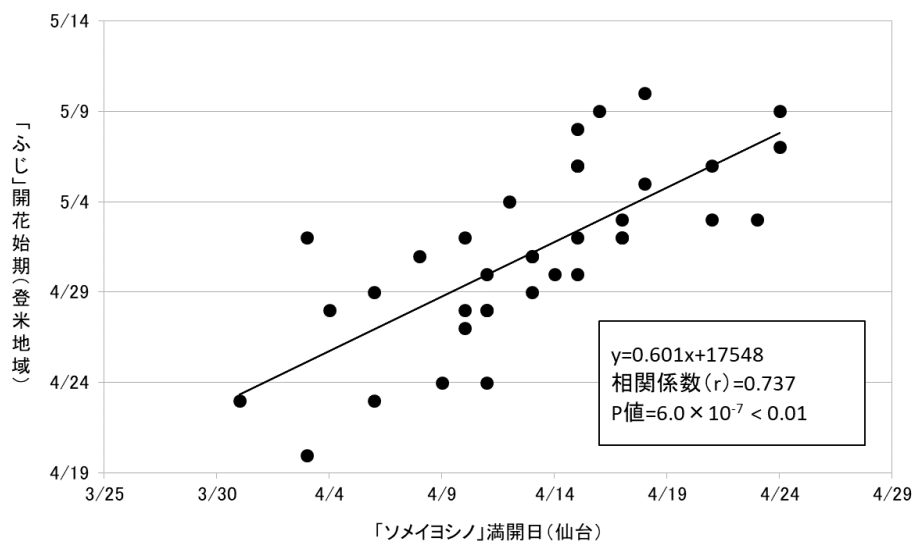


図1 「ふじ(登米地域)」の開花始期と「ソメイヨシノ」(仙台)満開日の比較

🌱 春の農作業安全確認運動実施中 🌱 (3月1日~6月30日)

～スローガン「徹底しよう! 農業機械の転落・転倒対策」～

- ◆シートベルト、ヘルメット着用の徹底!
- ◆危険箇所では原則、迂回を!



2. 凍霜害対策について



(1) 危険予測

午後6時の気温が10℃以下で1時間に1℃以上の気温の低下がみられる晴天無風状態では、翌朝に降霜の危険性があります。低温注意報、霜注意報等の発令に十分注意するとともに、自らの果樹園の気温を測って対策を講じましょう。

(2) 凍霜害の安全限界温度（福島県農業総合センター果樹研究所より）

表2 りんご（ふじ）の凍害を受ける安全限界温度※（℃）

発芽期	展葉初期	花蕾露出期	花蕾着色期	開花始	満開期	落花期
						
-2.1	-2.1	-2.1	-2.0	-1.5	-1.5	-1.7

※安全限界温度：植物体温度が当該温度以下に1時間おかれた場合に、被害がわずかでも発生するおそれがある温度。

(3) 予防対策

- ① 敷きわらや雑草等は、日中の地温上昇を妨げ冷気を溜めてしまうので、敷きわらの除去や下草の草刈りを行いましょう。
- ② 冷気の流れがせき止められるような位置に防風ネット等の遮へい物があると果樹園内が低温になるので、障害となるものは巻き上げるか除去しましょう。
- ③ 晩霜対策には重油や固形燃料利用、防霜ファン、散水凍結法等があります。燃焼による対策を行うときは、事前に地域住民の理解等（消防署への連絡）を得ておくようにしましょう。

(4) 凍霜害被害にあった場合

- ・結実量を確保するために、授粉回数を多く、なおかつ花粉の希釈をしないで、「生づけ」することをおすすめします。おしべが被害を受けても、めしべが正常か多少の被害であれば結実が期待できるので被害の程度を確かめて授粉しましょう。
- ・特に被害を受けた果実はサビ果や奇形果になりやすいので、仕上げ摘果は障害状態が分かった後に行ってください。幼果期（満開1週間後頃）に霜害にあった場合、さびは3～4週間経ってから現れてきたり、さびの部分から裂開したりする場合もあるので、随時園地を見回り、程度がひどい場合は摘果しましょう。
- ・着果量が少なくなると樹勢が強くなるので、新梢管理を徹底してください。
- ・ほとんど着果がない場合でも、通常の防除は行ってください。
- ・果樹共済に加入されている方は、被害にあった旨を共済組合までご連絡ください。



写真 正常な花芽と凍霜害の被害を受けた花芽
＜左：正常な花 右：凍霜害に遭遇した花＞

